

和歌山 人・もの・地域

なごみ
n a g o m i

Vol.22
2013

Artistic
Sanctuary

開創1200年に向けて

特集

天空の聖地 高野山

知事対談 小宮山 宏×仁坂吉伸

フォトエッセイ [和歌山県庁 本館]

伝統の巧手 (紀州桐箪笥)

Cool! Deep! Wakayama (大島港・串本町)

プレミア和歌山 羅生門 龍寿 (りゅうじゅ)

吉祥宝来 (きつじょうほうらい)

天空の聖地 高野山

特集

高野山は、2014年
世界遺産登録10周年、
そして2015年4月
開創1200年を迎えます

空海が高野山に真言密教の本山寺院をおいたことは甚だ重要なである。奈良仏教は、東大寺や興福寺のように本山寺院が都会にある仏教である。平安仏教は、最澄の天台宗にせよ、空海の真言宗にせよ、本山寺院を鬱蒼たる山の頂上におくが、それによって日本仏教の性格が変わる。なぜなら、日本には古くから神々が住みついており、そのような山に仏教の本山寺院がおかることにより神仏習合が成立したからである。

特に空海が、都における真言密教の拠点、東寺をもちながら、本山寺院を高野山におき、高野山奥之院で入定しているのは、彼がいかに深く森を愛したかを示している。また、奈良時代の大寺の本尊の多くは金銅仏であるが、空海の建立した寺の本尊の多くは木彫仏である。真言密教は森の仏教であるといえる。

日本は森の国であり、今後も日本は森の国としてあり続けるなければならない。

梅原 猛

うめはらたけし
1925年、仙台市生まれ。京都大学文学部哲学科卒。現在国際日本文化研究センター顧問。1999年文化勲章受章。二期にわたる『梅原猛著作集』が刊行され、繩文時代から近代までを視野に收め、文学・歴史・宗教等を包括して日本文化の深層を解明する幾多の論考は〈梅原日本学〉とよばれる。



吉祥宝来 (さっしょうほうらい)
宝来とは1200年余前に空海が唐で習得し、弟子たちに手法を伝授した縁起物(吉祥)の「切り絵」。糞のない高野山でしめ縄の代わりに飾るようにになったと言われている。宝船や干支など数種類の図柄があり、表紙の「如意宝珠」は仏教において様々な靈験を表す宝の珠。



高野山町石道
空海も歩いた高野山麓の慈尊院から山上を結ぶ参詣道。約22kmの道の中には一町(約109m)毎に町石(道標)が180基置かれ、神聖な雰囲気が漂う。



金剛峯寺
真言宗の総本山であり、宗務所が置かれている。元々、金剛峯寺という呼称は高野山全体のことを指し、空海が名付けたといわれている。



靈宝館
山内の貴重な文化遺産を保存展観する施設として大正10年に開設。収蔵品もさることながら、建物も大正期の近代建築として登録有形文化財に指定されている。

高野山の形状はよく蓮の華に例えられる。内八葉外八葉と呼ばれる峰々に囲まれた盆地であり、人里を眺める事も人里から眺める事もできない。まさに俗世と隔絶された密教の聖地であり、また多くの人々が暮らし、祈りと生活が一体となつた天空の宗教都市でもある。

空海千二百年の夢。 天空の宗教都市

今から1200年前、自然を尊ん

だ空海は、鬱蒼と茂る樹々の合間に

天を仰ぎ見、自分と仏のみが存在

する世界、密教修行の理想の場所と

して高野山の開創に着手する。「山

境内地」、高野山全体が金剛峯寺と

いう巨大な境内であり最盛期には

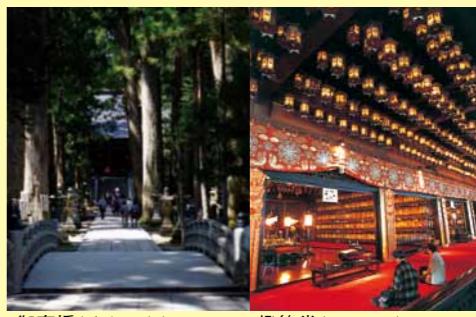
2千もの堂舎が立ち並んだという。



金堂
高野山全体の総本堂で高野山での主な宗教行事が執り行なわれる。本尊の薬師如来は秘仏で高村光雲作。※2015年開創法会で約80年ぶりに開帳予定



根本大塔
空海の発案で建てられた日本初の多宝塔。塔内には金色に輝く大日如来像を中心とした彩色の立体曼荼羅が広がる。空海入定後の887年に完成。



御廟橋(ごびょうばし)
玉川にかかる御廟橋を渡ると奥之院で最も神聖な霊域に入る。また、金剛界曼荼羅の37尊を表すこの橋を渡ることで、浄土へ往くと信じられている。



奥之院参道
参道両側に立ち並ぶ無数の供養塔。中には敵味方にない闘った戦国大名の五輪塔も。あらゆる人々の空海への思いと、宗派やイデオロギーを超えた高野山の懐の深さを感じることができるエリア。

奥之院 (おくのいん)

一の橋から弘法大師・空海が入定され、御廟まで一体を差す。壇上伽藍と共に高野山で最も神聖なエリアで、樹齢千年に近い大杉と数十万基の墓碑や供養塔が見るものを見下す。

奥之院の最奥部にお大師様が眠る御廟があります



千二百年変わらない 空海が伝えた密教

空海が説いた密教とは、大日如来を主尊する教えである。大日如来は仏法の真理そのものであり、智恵の光で世界をあまねく照らし、人々の苦しみや煩惱といった闇を取り除く。從来は死して仏となるものであったが、老若男女を問わず生きているままに仏に成れる＝「即身成仏」と空海は説き、画期的な教えとして当時は驚きをもって迎え入れられた。

また全てのものには「いのち」が宿り、人間や鳥、樹々さえも平等で、共にいきる「いのち」である。そして互に助け合うことが大切だとも説いた。この「共利群生」という考えは、万物に神々が宿るという日本古来の考え方にも通じ、空海は仏と同様に神も崇めた。1200年を経た今も変わらない空海の想いはこれからも生き続ける。

「写經」しゃきょう



写經とは教典を書写することであり、古来より仏法を広める重要な僧侶の修行のひとつであった。また写經することに功徳があることから一般にも広がり、東京で行われた高野山カフェをはじめ、各地で写經教室が開かれるなど人気を集めている。



写經体験
一字一句書き写することで雑念が払われ、今日では精神集中とりラックスできると注目を集めている。

「結縁灌頂」けちえんかんじょう



自身が仏の世界に入り、曼荼羅に向かって華を投じることによって仏との縁を結ぶ、高野山で行われる厳格な儀式の一つ。華の落ちた所の仏と縁を結ぶところから結縁灌頂の名がある。灌頂という儀式は、心の中にある仏の心と智慧を導き開く儀式として、一般の方も受けができる。

「阿字觀」あじかん



阿字觀（あじかん）は、密教の根本經典の一つである「大日經」において説かれる瞑想法であり、空海によって伝えられた現存する数少ない遺法の一つ。「阿」という梵字は、万物の元という意味を持ち、「阿」字に精神を集中し瞑想が深まれば悟りが実現するといわれている。



阿字觀本尊
丸い月輪(がちりん)の中に蓮華が描かれ、阿字觀本尊の梵字は「大日如來」を表している。

人と人との繋がりを
誰もが安らぐ空間

Artistic
Sanctuary



投華得仏の華
四季を通して美しいことから“しきみ”とも呼ばれる“華”。仏事によく用いるため寺院に多く植えられている。



Koyasan in Tokyo

高野山別院は、1673年建立された在番所で江戸時代は本山と幕府を結ぶ役目をもっていた。現在は高野山真言宗総本山金剛峯寺の別院。周りの堀はあって低く作られて開放的で、敷地内の大木陰にはひと休みする親子連れの姿も。阿字觀体験や写經会を定期的に開催しており、首都圏で高野山を感じることができるスポットとして、また心の拠り所として多くの人々が訪れる。開創1200年にあたる平成27年には、別院の檀信徒の皆さんが高野山へ参拝する計画が進行中。



定期的に行われる阿字觀体験会。毎回多くの参加者が集まる人気の教室。参加費無料

「東京別院／結び大師」



住所／東京都港区高輪3丁目15
電話／03-3441-3338



阿字觀（あじかん）は、密教の根本經典の一つである「大日經」において説かれる瞑想法であり、空海によって伝えられた現存する数少ない遺法の一つ。「阿」という梵字は、万物の元という意味を持ち、「阿」字に精神を集中し瞑想が深まれば悟りが実現するといわれている。



阿字觀本尊
丸い月輪(がちりん)の中に蓮華が描かれ、阿字觀本尊の梵字は「大日如來」を表している。

人と人との繋がりを
誰もが安らぐ空間



「どなた様でも、多くの方々に高輪結び大師へお参りして頂きたいと思っております」と語る東京別院の四之宮弘孝さん（左）。右は金剛峯寺の薮邦彦さん。

「阿字觀」あじかん



阿字觀（あじかん）は、密教の根本經典の一つである「大日經」において説かれる瞑想法であり、空海によって伝えられた現存する数少ない遺法の一つ。「阿」という梵字は、万物の元という意味を持ち、「阿」字に精神を集中し瞑想が深まれば悟りが実現するといわれている。



阿字觀本尊
丸い月輪(がちりん)の中に蓮華が描かれ、阿字觀本尊の梵字は「大日如來」を表している。

人と人との繋がりを
誰もが安らぐ空間



「どなた様でも、多くの方々に高輪結び大師へお参りして頂きたいと思っております」と語る東京別院の四之宮弘孝さん（左）。右は金剛峯寺の薮邦彦さん。

「阿字觀」あじかん



阿字觀（あじかん）は、密教の根本經典の一つである「大日經」において説かれる瞑想法であり、空海によって伝えられた現存する数少ない遺法の一つ。「阿」という梵字は、万物の元という意味を持ち、「阿」字に精神を集中し瞑想が深まれば悟りが実現するといわれている。



阿字觀本尊
丸い月輪(がちりん)の中に蓮華が描かれ、阿字觀本尊の梵字は「大日如來」を表している。

人と人との繋がりを
誰もが安らぐ空間



「どなた様でも、多くの方々に高輪結び大師へお参りして頂きたいと思っております」と語る東京別院の四之宮弘孝さん（左）。右は金剛峯寺の薮邦彦さん。

「阿字觀」あじかん



阿字觀（あじかん）は、密教の根本經典の一つである「大日經」において説かれる瞑想法であり、空海によって伝えられた現存する数少ない遺法の一つ。「阿」という梵字は、万物の元という意味を持ち、「阿」字に精神を集中し瞑想が深まれば悟りが実現するといわれている。



阿字觀本尊
丸い月輪(がちりん)の中に蓮華が描かれ、阿字觀本尊の梵字は「大日如來」を表している。

人と人との繋がりを
誰もが安らぐ空間



「どなた様でも、多くの方々に高輪結び大師へお参りして頂きたいと思っております」と語る東京別院の四之宮弘孝さん（左）。右は金剛峯寺の薮邦彦さん。

「阿字觀」あじかん



阿字觀（あじかん）は、密教の根本經典の一つである「大日經」において説かれる瞑想法であり、空海によって伝えられた現存する数少ない遺法の一つ。「阿」という梵字は、万物の元という意味を持ち、「阿」字に精神を集中し瞑想が深まれば悟りが実現するといわれている。



阿字觀本尊
丸い月輪(がちりん)の中に蓮華が描かれ、阿字觀本尊の梵字は「大日如來」を表している。

人と人との繋がりを
誰もが安らぐ空間



「どなた様でも、多くの方々に高輪結び大師へお参りして頂きたいと思っております」と語る東京別院の四之宮弘孝さん（左）。右は金剛峯寺の薮邦彦さん。

「阿字觀」あじかん



阿字觀（あじかん）は、密教の根本經典の一つである「大日經」において説かれる瞑想法であり、空海によって伝えられた現存する数少ない遺法の一つ。「阿」という梵字は、万物の元という意味を持ち、「阿」字に精神を集中し瞑想が深まれば悟りが実現するといわれている。



阿字觀本尊
丸い月輪(がちりん)の中に蓮華が描かれ、阿字觀本尊の梵字は「大日如來」を表している。

人と人との繋がりを
誰もが安らぐ空間



「どなた様でも、多くの方々に高輪結び大師へお参りして頂きたいと思っております」と語る東京別院の四之宮弘孝さん（左）。右は金剛峯寺の薮邦彦さん。

「阿字觀」あじかん



阿字觀（あじかん）は、密教の根本經典の一つである「大日經」において説かれる瞑想法であり、空海によって伝えられた現存する数少ない遺法の一つ。「阿」という梵字は、万物の元という意味を持ち、「阿」字に精神を集中し瞑想が深まれば悟りが実現するといわれている。



阿字觀本尊
丸い月輪(がちりん)の中に蓮華が描かれ、阿字觀本尊の梵字は「大日如來」を表している。

人と人との繋がりを
誰もが安らぐ空間



「どなた様でも、多くの方々に高輪結び大師へお参りして頂きたいと思っております」と語る東京別院の四之宮弘孝さん（左）。右は金剛峯寺の薮邦彦さん。

「阿字觀」あじかん



阿字觀（あじかん）は、密教の根本經典の一つである「大日經」において説かれる瞑想法であり、空海によって伝えられた現存する数少ない遺法の一つ。「阿」という梵字は、万物の元という意味を持ち、「阿」字に精神を集中し瞑想が深まれば悟りが実現するといわれている。



阿字觀本尊
丸い月輪(がちりん)の中に蓮華が描かれ、阿字觀本尊の梵字は「大日如來」を表している。

人と人との繋がりを
誰もが安らぐ空間



「どなた様でも、多くの方々に高輪結び大師へお参りして頂きたいと思っております」と語る東京別院の四之宮弘孝さん（左）。右は金剛峯寺の薮邦彦さん。

「阿字觀」あじかん



阿字觀（あじかん）は、密教の根本經典の一つである「大日經」において説かれる瞑想法であり、空海によって伝えられた現存する数少ない遺法の一つ。「阿」という梵字は、万物の元という意味を持ち、「阿」字に精神を集中し瞑想が深まれば悟りが実現するといわれている。



阿字觀本尊
丸い月輪(がちりん)の中に蓮華が描かれ、阿字觀本尊の梵字は「大日如來」を表している。

人と人との繋がりを
誰もが安らぐ空間



「どなた様でも、多くの方々に高輪結び大師へお参りして頂きたいと思っております」と語る東京別院の四之宮弘孝さん（左）。右は金剛峯寺の薮邦彦さん。

「阿字觀」あじかん



阿字觀（あじかん）は、密教の根本經典の一つである「大日經」において説かれる瞑想法であり、空海によって伝えられた現存する数少ない遺法の一つ。「阿」という梵字は、万物の元という意味を持ち、「阿」字に精神を集中し瞑想が深まれば悟りが実現するといわれている。



阿字觀本尊
丸い月輪(がちりん)の中に蓮華が描かれ、阿字觀本尊の梵字は「大日如來」を表している。

人と人との繋がりを
誰もが安らぐ空間



「どなた様でも、多くの方々に高輪結び大師へお参りして頂きたいと思っております」と語る東京別院の四之宮弘孝さん（左）。右は金剛峯寺の薮邦彦さん。

「阿字觀」あじかん



阿字觀（あじかん）は、密教の根本經典の一つである「大日經」において説かれる瞑想法であり、空海によって伝えられた現存する数少ない遺法の一つ。「阿」という梵字は、万物の元という意味を持ち、「阿」字に精神を集中し瞑想が深まれば悟りが実現するといわれている。

密教アート の世界

高野山は山上の正倉院と例えられるほど貴重な密教美術品に満ちている。密教においてこれらアートは難解な教えを分かりやすく表現するものとして非常に重要なものである。それでも靈宝館には、数多くの国宝・重要文化財が収蔵されている。また、山上の至るところでも、アートに出会うことができる。1200年という長い歴史を経て今も語り続けるものたち。それらにも全て「いのち」が宿っている。



靈宝館
靈宝館は単なる展示施設ではなく、貴重な文化財の収納庫であり信仰のための参拝所でもある。また本館自体が平成10年に登録有形文化財に指定されている。

住所／伊都郡高野町高野山306
電話／0736-56-2029
<http://www.reihokan.or.jp/>

靈宝館の設立に奔走する！

高野山開創以来、全山を焼き尽くすような4度の大火灾や落雷による火災などで、多くの仏像や仏像が消失した。また明治の廢仏毀釈でも多くの文化財が毀損と流出の危機に見舞われた。そんな中、「日本の鉄道王」と呼ばれ、大阪と高野山を結ぶ南海電鉄高野線開通の礎を築いた「根津嘉一郎」が靈宝館設立に尽力したといわれている。当時、日本最大の財閥であった三井や、後に総理大臣となった高橋是清など多くの協力者と共に、私財を投入し、また資金集めに奔走。発案からおよそ10年後の大正10年に開館した。

宝を守れ!
靈宝館
設立物語

制多迦童子像(国宝)
せいだかとうじぞう
運慶作と伝えられる八大童子立像のうちの一尊。その眼差しからは、爽快として非常に理知的な印象を受ける。
(高野山金剛峯寺蔵)



矜羯羅童子像(国宝)
こんがらどうじぞう
穏やかで親近感のある表情が特徴。八大童子立像の中でも、制多迦童子像とともに運慶の作風が最もあらわされていると評される。
(高野山金剛峯寺蔵)



諸尊仏龕(国宝)
しょそんぶつがん
空海が惠果和尚から託され唐から持ち帰った伝えられるもので、七世紀頃の作。
(高野山金剛峯寺蔵)



血曼茶羅
ちまんだら
曼茶羅とは密教における仏の悟りの境地や世界觀などを視覚的に表したもので、胎藏界曼茶羅と金剛界曼茶羅を合わせて「両界曼茶羅」と呼ぶ。高野山に伝わる「血曼茶羅」は、平清盛が自身の頭の血を絵具に混ぜて描かせたと伝わる。
(高野山金剛峯寺蔵)

1200年の時を経てもなお、 形を変えて存在するもの

高野山カフェ in 丸の内



毎年好評を
いただいている

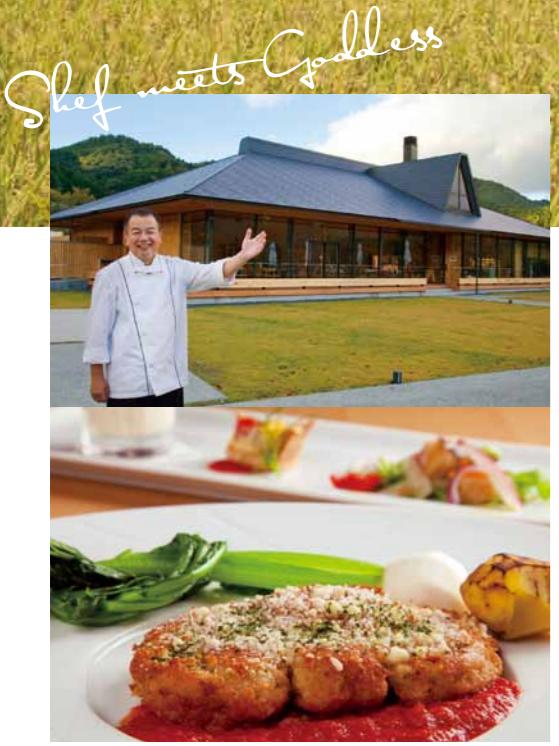
高野山は密教の聖地ではありますが、お寺だけなく、多くの人が暮らす山の町です。宿泊には宿坊もおすすめ。是非お越し下さい。

Artistic
Sanctuary

今年で4回目の開催となった高野山カフェ。今年度は8月30日から9月8日の10日間、丸の内ハウスで開催された。高野山の僧侶たちがお経に旋律をつけて唱える「声明ライブ」や僧侶と語り合う「僧侶と語らナイト」、本格的な写経体験や丸の内ハウスオリジナル精進料理など、東京に居ながら高野山を感じつつチ修行を積めると大盛況。

チ修行であっても
ホンモノの高野山。

「人々の幸せを願う」という1200年変わらない空海の想いをそのままに、仏法を広める真面目な活動を現代風に楽しくアレンジしたのがこのイベントの特徴だ。「首都圏の皆様に高野山の魅力を知っていただき、2015年に開創1200年を迎える現地にも、是非足を運んでいただきたい」とイベントを主催する南海電鉄の石井光次さんは語った。



料理で奏でる神仏習合。
天野と世界の食材がコラボする

目の前に広がるのどかで美しい日本の原風景。そして優しく穏やかな里の人たち。神の籠もるこの天野の地に2013年4月、ゲストハウス「山荘 天の里」がオープンした。宿泊棟は3棟のコテージで構成され、紀州材をふんだんに用いた上質な空間が広がる。「料理人にとってこんな素晴らしい環境はありません。自問自答しながら、天野の食材で天野でしか食べられない料理を作る、理想は料理の神仏習合です。」と今西康成料理長は楽しげに語る。和食も経験したフレンチのシェフが奏でるランチは人気が高く、平日でも予約した方が安心。

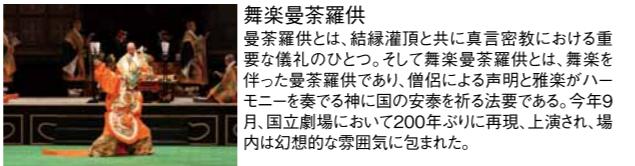
山荘 天の里
住所 / 伊都郡かつらぎ町下天野1620
電話 / 07356-26-0753
<http://www.amanosato.com>
※ランチのみの利用も可能 / 11:00~13:30 (LO) / 月・木のみランチは休み

千二百年前、
空海は天野で
神様と出会う。

黄金色に輝く秋の天野の里。高原盆地で昼夜の温度差が大きく、水も土も稻作に適しているため、天野の米は美味しいと人気が高い。



舞楽曼茶羅供
舞楽曼茶羅供は、結縁灌頂と共に真言密教における重要な儀礼のひとつ。そして舞楽曼茶羅供とは、舞楽を伴った曼茶羅供であり、僧侶による声明と雅楽がハーモニーを奏でる神に國の安泰を祈る法要である。今年9月、国立劇場において200年ぶりに再現、上演され、場内は幻想的な雰囲気に包まれた。



高野山開創1200年に向けて



本殿4殿は国指定重要文化財に指定。神社建築様式の一つである一間社春日造では日本最大の規模を誇る。現在、「平成のご造営」が行われており、高野山開創1200年を迎える前年の2014年11月には完成し、盛大な正遷宮祭りが実施される予定。

住所 / 伊都郡かつらぎ町上天野 230
電話 / 0736-26-0102
<http://www.niutsuhime.or.jp/>



丹生都比売神社境内入口にある太鼓橋は淀君の寄進と伝わる。その姿は美しく舞楽曼茶羅供の装束にも描かれている。

空海はとても神様を大切にした。高野山麓・天野の里にある丹生都比売神社は空海と深い関わりを持つ。1200年前、空海は天野の山中で狩野明神と出会い、その導きで丹生都比売大神より高野山を借り受けた。その後空海は、高野山開創に先立ち壇上伽藍に丹生都比売大神を祀る御社を建立した。それは空海の「共生」という考

え方そのものであり、日本人にとつてなじみ深い神仏習合でもあった。

現在も空海のその教えは引き継がれ、毎日の読経においても「南無大師遍照金剛」と弘法大師を称えるとともに、丹生都比売を称え「南無大明神」と併せて唱えられる。また僧侶たちは四度加行を終えると、お札参りとして今でも丹生都比売神社にお札を納めている。

密教で重要な四つの修法を四度加行という。お札の札は丹生都比売神社だけでなく、御社や奥の院などにも奉納される。

空海が愛した 神様の里 天野





小宮山 宏(こみやまひろし)

1944年栃木県宇都宮市生まれ。東京大学大学院工学系研究科卒業。工学博士。第28代東京大学総長を経て現在、三菱総合研究所理事長、プラチナ構想ネットワーク会長。自宅の年間光熱費を8割減らしたエコハウス(通称: 小宮山エコハウス)を完成させるなど省エネ生活を積極的に実践。「課題先進国」「日本再創造」など著書多数。

環境問題から雇用問題、人として健康に生きるなど現代社会の様々な問題を解決する“資源”は、開発され尽くした都会ではなく、地方にこそ埋蔵されている。

今こそ、資源的に優れた地方の時代



小宮山宏×仁坂吉伸
三菱総合研究所 理事長
和歌山県知事

知事対談

仁坂知事(以下仁坂) ● 小宮山先生は現在三菱総合研究所理事長であるとともに、プラチナ構想ネットワーク会長としても活躍されています。その活動についてお話を伺いたいと思います

小宮山宏氏(以下小宮山) ● 20世紀初頭、世界の平均寿命は31歳で、人類はとても短命な動物でした。その要因のひとつが栄養失調であったと言われています。しかし現在では先進国の平均寿命は78歳で、全世界の平均寿命でさえ70歳となりました。

知事 ● 発展途上国の人々も餓えに困らなくなり、病氣にも強くなつたということなのでしょうか?

小宮山 ● もちろん世界ではまだ餓えに苦しむ地域もありますが、少なくとも先進国ではほぼ食べるのに困らなくなつたといえます。結局平均寿命というのは、どれくらいの人が餓えに苦しむ事がなくなつたかという指標といえます。そういう意味では先進國の人たちは量的に多くのモノを得、経済成長は飽和状態であるともいえます。では人類社会は今後発達しないのかといふと、そうではないと思っています。ただ単に長生きするのではなくて、自立した状況で輝かしい人生を送れるのが大切で、量的に満ちた状態から質的な高さを求めるようになる。それがプラチナ社会の精神です。世界中の多くの国々が量的充足を得、先進国となるのもそう遠くないことだと思います。日本は先進国だからこそ抱える課題にいち早く直面した課題先進国であり、だからこそ先進国次のモデルを創らなければならぬ。それがプラチナ構想ネットワークの趣旨です。

環境問題と雇用問題を一挙に解決する

知事 ● 質的な高さを求めていくのがプラチナ構想ネットワークということですが、どこに重点をおかれていますか。

小宮山 ● 一つはトータルな意味での環境です。それと健康な長寿社会、参加型の社会の構築や資源の問題とか色々あります。例えば環境面では、1960年代に日本は公害という社会問題を一応は克服しました。しかし美しい生態系を守るというレベルには到達していない。日本は国土が狭く、約65%が森林に覆われているにも関わらず、人々が親しめるような自然ではありません。さらには国内で使用する約75%の木材を輸入し、世界の森林破壊の要因になっているとも言われています。また雇用問題も重要な問題です。そこで日本の木材自給率を100%を目指し林業を復活させることで、100万人近い雇用が創出される。それで環境問題と雇用

問題を同時に解決できるのでは?という議論をしています。例えば若年失業率をギリシャではなくと60%です。昔はほとんどの人が農業に従事し、みんなで食べ物を作りみんなで食べる。だから失業がなかったのですが、現在では技術革新が進み、200人に一人が農業に従事するだけで食糧が足りる計算になります。さらに農業に限らず様々な分野においても技術革新が進むと、極論ですが9割の人口が失業するかもしれません。ではどうするか?というと、さらに高機能なモノ"だとか、非常に高度な"サービス"などの開発が必要となります。逆にそれを生まないと、先進国は持たないと思っています。まさしくそれは"人のクオリティ・オブ・ライフ"を上げていくという事と同じです。

知事●小宮山先生の「課題先進国」日本を読ませて頂いて、私は「課題先進県和歌山」と言っています。飛行機に乗り和歌山県を上から眺めると、緑は深く美しく、まるでドイツのシュバルツバールトのようですが、実際に人工林に足を踏み入れると残念な気持ちになります。戦後、和歌山県では林業が盛んになり広範囲に渡り植林が進み、原生林がなくなりました。しかし今ではその林業が衰退したこと、間伐さえされていない人工林だけが残されています。先生が提案する林業の再生

知事対談

小宮山宏×仁坂吉伸

三菱総合研究所 理事長
和歌山県知事

人が人と関わりを持つ事で健康になるともいえる

は和歌山にとつて必須の課題だと思っています。

小宮山●今は、「勿体ない精神」が非常に発達していますが、これからは少し考え方を変えた方がいいと思います。エネルギーとか物に対して勿体ないというのは極めて重要な感覚ですが、必要な部分でさえお金を使わないという風潮が蔓延しているようにも思います。人間というのは社会的動物なので、孤立するとどんどん病んでしまいます。さらには高齢化社会が進み、独居世帯が増えると言われています。だからこそ仲間同士で交流する場や、誘い合わせて買物を出かけるなど、意識的に多くの人と交流を持ち、どんどん外へ出て行く機会などを増やした方がいいと考えています。それが幸せな長寿社会のための必要条件だと思います。

知事●まつたく同感です。そういう意味でも和歌山は、他県より高齢化が進み独居も多い課題先進県です。しかし地方であるがゆえ人間関係が緻密で、その分救われている部分もあります。さらに和歌山県では、民生委員や仕事上家々を訪問する民間の力を借りた独居世帯を見守るような施策も行っています。また交流そのものも観光化しています。そのひとつ

知事●今は、「勿体ない精神」が非常に発達していますが、これからは少し考え方を変えた方がいいと思います。エネルギーとか物に対して勿体ないというのは極めて重要な感覚ですが、必要な部分でさえお金を使わないという風潮が蔓延しているようにも思います。人間というのは社会的動物なので、孤立するとどんどん病んでしまいます。さらには高齢化社会が進み、独居世帯が増えると言われています。だからこそ仲間同士で交流する場や、誘い合わせて買物を出かけるなど、意識的に多くの人と交流を持ち、どんどん外へ出て行く機会などを増やした方がいいと考えています。それが幸せな長寿社会のための必要条件だと思います。

小宮山●ところで国際化といえども和歌山のいい点で、さらにこの移住してきたIターンの先輩たちが地元住民と一緒になつて協議会や窓口を作り、後から来る人たちの面倒見、またその後輩たちは新しい協議会のメンバーになっていく。まさにサステイナブルな社会だと思っています。



小宮山●それは素晴らしいですね。温か

国際化の時代にどのように対応するのか

い人情味こそ重要な資源です。

知事●グローバリゼーションの時代ですが、プラチナ構想ではどのようにお考えですか?

小宮山●国際化への対応は重要な課題で、なかでも教育現場での対応は是非とも実現したいと思っています。

知事●具体的にはどのような方策なのでしょうか?

小宮山●フルタイムでなくていいから、社会経験者を学校へ派遣するシステムで、いじめ問題やクレーム処理に精通した社会経験者、そしてもつとも重要なのが海外経験者です。英語の補助教員というのだけでなく海外での経験を元にした広い視野を持っている高齢の方など最適ですね。そういうそれぞれの分野の社会経験者をひとつの中学校に5人ぐらい配置できればいいなあと考えています。

知事●それはいいですね。そうする事で高齢の方々は誇りを持って社会と繋がりを持ち、さらには教員だけでは対処しきれない問題を解決できる。一石二鳥ですね。実は和歌山県でも同じようなことをやりたいと思っていました。県でも現在、国際化教育を進めており、私は「英語を勉強する」のではなくて「英語で勉強する」と言つてしま

す。英語そのものの勉強は面白くないかもしれないけど、社会に出て「何かをする時の道具」として使うものと考えれば面白いかもしれないと思っています。

小宮山●ところで国際化といえば、果実なんかは和歌山の得意分野ではないのですか?特にみかんや梅、桃など特産品は高い評価を得ていますよね。私の外国人の友人も、日本の果実は安全で美味しいのでお土産に買って帰りたいと言っています。

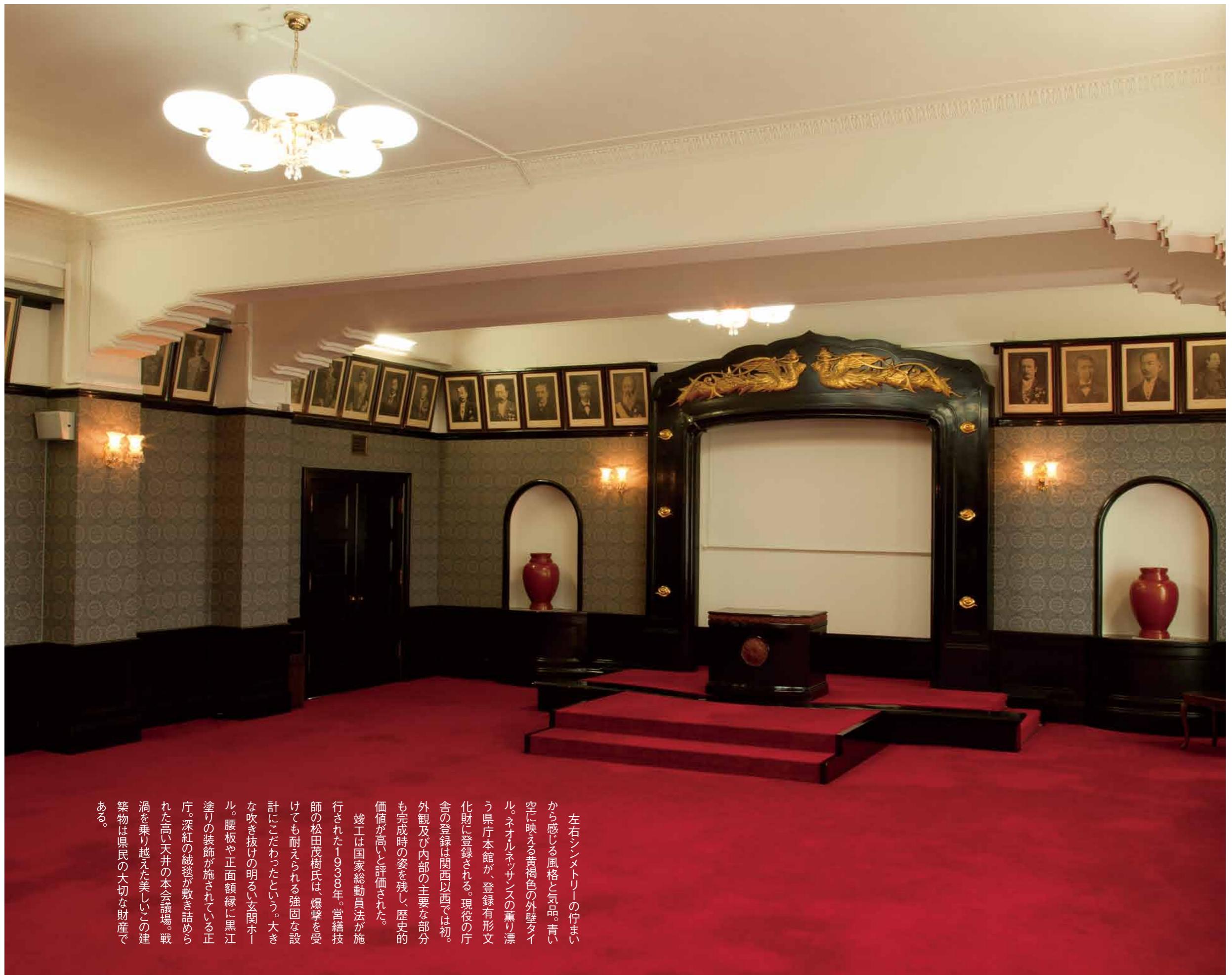
知事●和歌山の農産物の美味しいと安全については特に自信があります。それは和歌山農産物安全プラスというシステムです。まず農家の方が生産段階で残留農薬についてチェックをし、さらに県と農協が共同して出荷段階で再チェックを行い、基準値に適しない産物が検出されると全数引き取る。そういう体制をとっています。

小宮山●それはすごく良いシステムですね。だからこそ和歌山産の野菜や果物など農産物は美味しいと評判なのですね。農産物の美味しさや環境の良さ、人ととの温かい関係。それらを考えると地方にはプラチナ構想に適した資源がたくさんあります。そういう意味でもこれからは地方の時代だと思います。

知事●課題「解決」先進県和歌山を目指してからも取り組んでいきたいと考えています。本日はお忙しい中、ありがとうございました。



和歌山県庁 本館



左／本館4階に位置する正厅。漆喰塗りの天井。腰板と額縁に施されたつや消しの黒い漆は黒江塗。さらに鳳凰と雲形が金箔で描かれ、深紅の絨毯とのコントラストが厳かな空気感を醸し出している。現在でも式典などで使用されている。



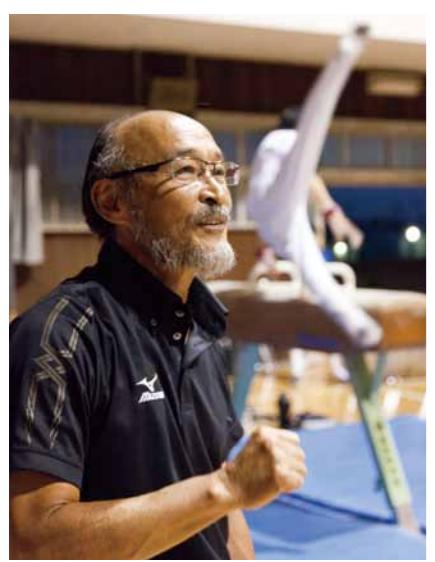
上／明るい外壁が青い空に映える和歌山県庁。 中／県議会が開催される本会議場。 下／玄関ホールから階段を上った踊り場には、保田龍門の丹生都比売の巨大なレリーフが飾られ県民を迎える。

2020年
東京オリンピック開催決定!

体操王国復活を目指して 和歌山オレンジ体操クラブ

7年後に開催される東京五輪に、夢をふくらませている子どもたちがいる。
未来の選手を育てる指導者の戦いは始まった。

国内開催に
輝く子どもの目



「2020年東京オリンピック開催が決定した瞬間、「よつしゃ」と思いました。その日を境に、子どもたちの目の色がガラッと変わりましたね」と語るのは和歌山オレンジ体操クラブの「一チ」であり和歌山県立和歌山北高等学校の体操部監督である田中章一教諭。口の「オリンピックにおいて、田中和仁、理恵、佑典3きょうだいが見せた鮮やかな演技と

「2020年東京オリンピック開催が決定した瞬間、「よつしゃ」と思いました。その日を境に、子どもたちの目の色がガラッと変わりましたね」と語るのは和歌山オレンジ体操クラブの「一チ」であり和歌山県立和歌山北高等学校の体操部監督である田中章一教諭。口の「オリンピックにおいて、田中和仁、理恵、佑典3きょうだいが見せた鮮やかな演技と

感動は記憶に新しい。その3人の父として、また指導者として彼らを育てた

田中さんの指導法は、あくまでも自然体。「成功の、いいイメージを持たせてあげることが大切」。体操部員、クラブのメンバーは「仲間であり、家族のようなもの」と話す。



田中三きょうだいの夢、繋ぐ

7年後に開催される東京五輪に、夢をふくらませている子どもたちがいる。未来の選手を育てる指導者の戦いは始まった。

受け継がれる
体操王国の遺伝子



県産品PRサポーター「おいしい！健康わかやま産品応援隊」としても活動中の田中3きょうだい。



紀州桐箪笥



志賀 聰一 職人歴10年
シガ木工/和歌山市延時13-4
電話 / 073-452-2011

7代続く職人の家に生まれ、現在は社長で伝統工芸士の父・啓二さんとともに働く。コンピューターでの図面描きから仕上げまでを担当。「伝統を守りながらも、現代の洋間にも合う製品を模索していきたい」。ローボード風の焼き桐の小袖など、新製品にも若いセンスが生かされている。



PRINCE of Folkcraft
若き伝承者

日本の「美」と「技」の凝集。和服の女性を連想させるような、絹のようになめらかな手触り。軽いえに、熱伝導性が低く燃えにくいため、古くから重宝された桐。和歌山城の築城にたずさわった職人によって継承されたという紀州桐箪笥は江戸末期ごろから、武家や商家の嫁入り道具として名をはせた。

ノミ砥ぎで3年、カナン砥ぎで10年以上かかると言わる厳しい世界。原木のアクリークを添えるだけで、スッと滑り出でくる引き出し。戻すと、隣の引き出しが手品のようにスースーと出てくる。高い工作精度ゆえの気密性。昔

は職人が、吹き出してくる風でハーモニカを鳴らして腕を競ったという。この気密性が虫や湿度から大切な着物を守る。

ノミ砥ぎで3年、カナン砥



で10年以上かかると言わる厳しい世界。原木のアクリークを添えるだけで、スッと滑り出でくる引き出し。戻すと、隣の引き出しが手品のようにスースーと出てくる。高い工作精度ゆえの気密性。昔

由だ。

ノミ砥ぎで3年、カナン砥



なんだか
ココロが
癒やされます

1890年に紀伊大島の沖合で遭難したトルコ軍艦エルトゥールル号犠牲者の慰靈塔。暴風雨の中、島民総出で救助と生存者の介抱に当たり、この事故から日本とトルコの友好関係が始まった。

エルトゥールル号殉難将士慰靈碑
住所／東牟婁郡串本町大島樅野

日本とトルコの 友好の始まりの島

トルコと串本町の友好の証として建てられた記念館。海中で発見された乗員の遺品のほかエルトゥールル号の模型などを展示。2階の展望台からは座礁地点を見ることができる。

トルコ記念館
住所／東牟婁郡串本町樅野1025-26
電話／0735-65-0628



真っ青な空と 白亜の灯台!

「日本の灯台の父」と呼ばれるブラントンの設計により建てられた日本最初の石造灯台。螺旋階段をのぼると、何もさえることのない美しい太平洋の水平線を眺めることができる。

樅野埼灯台
住所／東牟婁郡串本町樅野
電話／0735-62-3171(串本町観光協会)



Cool! Deep! OSHIMA!



素朴な空気感。穏やかな時間。優しい日差し。和歌山のナチュラルアイランド。



Cool! Deep! Wakayama

クール! ディープ! ワカヤマ

本州最南端の潮岬の真横に浮かぶ紀伊大島はトルコとの友好の島だった。



大島港



**のび~るアイス
ドンドルマ**

トルコ人のシケリさんが経営するトルコ土産店。一番のおすすめは伸びるアイスクリーム、ドンドルマ。濃厚な甘さだけど後味はさっぱり。パフォーマンスたっぷりに提供してくれる。

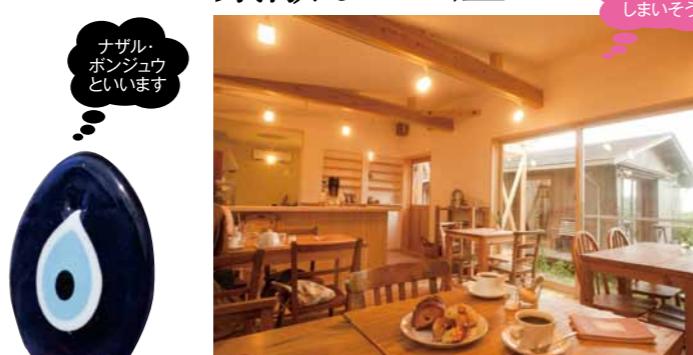
オスマン・コナック
住所／東牟婁郡串本町樅野1028
電話／0735-65-0013



海金剛

寄せ来る荒波に削られた巨岩が海岸から切り立つ地球創世記のような姿を見せる景勝地。「21世紀に残したい日本の自然百選」に選ばれている。

**ナチュラルな外観と
大島というロケーションが
素敵なおパン屋さん**



国産小麦と自家製酵母やヨーグルト種を使ったパンはどれもおすすめ。店内は素朴な雰囲気で、大島との一体感が心地いい。今夏、カフェスペースも増築され、さらにのんびりとした時間を楽しめるようになった。

パンとカフェの店 nagi
住所／東牟婁郡串本町大島1158
電話／0735-65-0065



ナザル・ボンジュウと呼ばれる青い目玉の魔除け。キーホルダーやブレスレットなどお土産にも最適。

島全体が、まるで港町のラビリンス。



のんびりとした時間が流れ、島のどこにいても潮騒が聞こえそうな静かな漁師町

【大島港と伊勢海老まるごと天丼】

男性的で力強く美しい海岸線。荒々しい磯は絶好の漁場で、魚貝類は波にもまれて身は引き締り美味しいくなる。新鮮な伊勢エビを丸ごと一匹使った天丼は大島の名物で、遠方から多くの人が押し寄せる。

天井自當に遠くからも多くの人が…



イセエビが丸ごと1匹使った伊勢海老まるごと天丼は大島の名物。

樅野釣公園センター
住所／東牟婁郡串本町樅野1021-13
電話／0735-65-0002

たま×ぱんた with きいちゃん



tama

2014年版カレンダーも発売中!
1600円(税込み)。



伊太祈曾駅長のニタマです

和歌山電鐵の社長代理「たま駅長」の部下であり、伊太祈曾(いだきそ)駅長として人気者の「ニタマ」。たま駅長が公休日の土・日曜日及び祝日は、貴志駅の駅長代行としても勤務し、忙しい日々を送っていますが、可愛く立派に駅長業務こなしています。

お問い合わせは、
和歌山電鐵(TEL.073-478-0110)へ。
駅長たまのツイッター @ekichoTAMA
貴志駅には駐車場はありません。
伊太祈曾駅のパーク&ライドをご利用頂くと便利です。

panda



お問い合わせは、
アドベンチャーワールドインフォメーション
(ナビダイヤル.0570-06-4481)へ。
公式ツイッター @aws_official
ホームページ <http://aws-s.com/>



「優浜」ひとり立ち!

2013年9月26日、1歳1ヶ月を迎えたジャイアントパンダ「優浜」がお母さんパンダ「良浜」からひとり立ちし、PANDA LOVEの屋内運動場へデビューしました。大人への第一歩を踏み出した「優浜」のほか、3歳のふたごパンダ「海浜」「陽浜」たちをはじめ、現在計5頭のパンダが園内で暮らしています。



2015 紀の国 わかやま 国体

第70回国民体育大会 跳動と歓喜、そして絆

2015 紀の国 わかやま 大会

第15回全国障害者スポーツ大会 跳動と歓喜、そして絆

「きいちゃん」は紀州犬をモチーフにした、2015年紀の国わかやま国体、紀の国わかやま大会のマスコットです。

「和-nagomi-」WEB版がご覧いただけます [和歌山県 なごみ](#)

和歌山県ホームページ <http://www.pref.wakayama.lg.jp/>
(携帯サイト) <http://wave.pref.wakayama.lg.jp/mobile/index.php>